

## 第2回近畿本部協賛団体特別セミナー報告～うめきた1期から2期への展望～

〔開催日時〕 平成30年1月26日(金) 14時～17時 (CPD: 3時間)

〔開催場所〕 大阪科学技術センター8F中ホール

### 1. 特別セミナー概要

公益社団法人日本技術士会近畿本部主催の「第2回近畿本部協賛団体特別セミナー『うめきた1期から2期への展望』」が、平成30年1月26日(金)に大阪科学技術センターの中ホールで、協賛団体参加企業8社11人と技術士会会員他の合計42名が参加し開催された。

今回の特別セミナーは、現在進行中の“うめきた2期地区”の開発に関連する話題で、開発主体の一つであるUR都市機構から全体像を、それらに関連するJR西日本の新駅及び新路線の整備に関する話題と、大阪市からは“うめきた2期みどりとイノベーション融合拠点形成推進協議会”としての、中核施設の実現に向けての取り組みをそれぞれご講演頂いた。

開会は総合司会の河野千代日本技術士会理事が行い、杉本哲雄近畿本部長の開会挨拶により特別セミナーは始まった。

### 2. 講演「うめきた2期開発について」

講師；大石 彰 UR うめきた都市再生事務所長

UR都市機構うめきた都市再生事務所所長の大石彰氏からは、元々の梅田貨物駅跡地を、どのような考え方の下に開発を進めてきたかという全体計画や、先行区域のグランフロント大阪の実績を踏まえた2期区域の、「みどりとイノベーションの融合拠点」というコンセプト、民間開発事業者募集を含めた今後のスケジュール等をご講演頂いた。



UR 都市機構 大石所長



JR 西日本 藤原所長

### 3. 講演「東海道線支線地下化（新駅設置事業含む）について」

講師； 藤原慶信 JR西日本大阪工務所所長

JR西日本大阪工務所所長の藤原慶信氏からは、“うめきた2期地区”の開発に関連する東海道線支線地下化工事に関する話題をご講演頂いた。特に梅田の軟弱な地盤における大規模掘削工事や、列車を運行しながら現在の鉄道構造物を改築する工事の難しさに

については、非常に興味深いお話であった。

#### 4. 講演「うめきた2期中核機能の実現に向けて」

講師； 高田滋美 大阪市うめきた企画担当部長★

★うめきた2期みどりとイノベーション融合拠点形成推進協議会幹事長

最後に大阪市うめきた企画担当部長の高田滋美氏からは、「うめきた2期中核機能の実現に向けて」と題して、うめきた2期区域において大阪市が、関西経済連合会、大阪商工会議所、都市再生機構、大阪府、大阪科学技術センターとともに立ち上げた、「うめきた2期みどりとイノベーションの融合拠点形成推進協議会」の活動について、紹介があった。

まちづくりの目標である「みどりとイノベーションの融合拠点」の形成をめざし、まちびらきに向けた先行的取り組みとして協議会が取り組む活動のほか、技術と人が集まる「イノベーションプラットフォーム」の構築や、ネットワーク構築に中心的役割を果たす総合コーディネート機関の設置などについて、説明があった。



大阪市 高田部長



質疑応答

これらの3つの話題は、大阪市、JR西日本及びUR都市機構が中心となり、「うめきた2期みどりとイノベーション融合拠点形成推進協議会」をはじめとする経済界や、今後事業者コンペで決定される民間開発事業者等の、複数の主体が連携しながら進めていくことになり、非常に大きな期待がかけられていることを実感した。

#### 5. 質疑応答

最後に質疑応答があり、同じ大阪でも中之島地域と比較すると文化がないというご意見や、阪急梅田周辺の開発と比較すると「ワクワク感」がないというもあった。

また、工事の関係者が非常に多く、それらの調整をどの様にしているかとの質問に対しては、インフラが多く入り混じっているのでブロック単位で調整を進めていること、基本的には顔を突き合わせて調整し、IT化していないという回答は非常に興味深かった。

締め括りとして、近畿本部協賛団体強化委員会の山崎和人委員長より、講師や協賛団体へのお礼を込めた挨拶で閉会となった。セミナー後場所を地下1階の懇親会場に移し、講師を交え協賛団体企業各社と技術士会会員相互の懇親を深めた。 以上

(文責；竹田雅信 山崎和人)